

## 各水試発トピックス

## 中学生を対象とした職業体験学習を新たに始めました

2024年9月に、稚内市立東中学校から水産試験場に興味がある生徒に稚内水産試験場にて職業体験をさせたい、との相談をいただきました。

近年、「魚離れ」が進行していることもあり、地元の中学生在が水産試験場にどの程度関心があるのか、あるいは、将来の就職先として水産試験場を候補にしているのかどうかなどが不明であり、不安でした。そこで、当場にて実施している調査研究業務の一部を体験することで、水産業への関心を高めていただくとともに、将来の就職先候補の一つに水産試験場を加えていただけるよう、体験学習を企画しました。

体験学習は、5名の生徒を対象に10月22日～24日の3日間で行いました。体験学習の項目は次の通りです。

- ホタテなど道内の主要漁業に関する学習（座学、著者が担当）
- 海藻類の観察やオゴノリの成長試験（コンブ遊走子の観察や、培養器を使ったオゴノリ培養試験、新井研究職員が担当、写真1）
- トドの生態調査（トドに印された標識から繁殖地の探索について、堀本主査が担当）
- 海洋環境に関する学習（海域による塩分等の水質差について、佐藤主査が担当）
- 魚類の測定業務体験（魚類サンプルの測定と図鑑を用いての魚種査定、堀本主査が担当）

魚体測定では、生徒同士で熱心に議論しながら魚の種類を査定したり、オゴノリの培養試験ではピペットを使いながら培養液を丁寧に容器に移し

たりするなど、慣れない作業をものともせず、どの体験学習項目においても熱心に取り組んでいました。さらに、当場内の視察では、海藻類や稚ナマコ、ホッケイエビ等も観察し、水生生物の増養殖研究への関心が高いこともうかがわれました。

生徒の感想文では、とても充実した体験学習を実施でき、今後の生活に活かしたい、とのコメントを拝見し、私たちも元気をいただきました。また、水産業への関心も高めていただけたように感じられ、安心しました。

稚内水産試験場では、稚内市や宗谷総合振興局が主催するジョブフェアなどで小中高生を対象に、水産資源管理あるいは増養殖にかかる研究や調査船業務を紹介してきました。今回の体験学習は初めての試みであり、当場の各研究員と模索しながらの実施となりましたが、今後改善を図り、地元の若者達の水産業への関心をさらに高めていきたいと思えます。

（佐藤敦一 稚内水試調査研究部）



写真1 海藻類の増養殖に関する体験学習の様子